

様式1 評価表（第9条関係）

平成28年度 水道記念館の運營業務評価結果

平成28年度 事業計画目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度における来館者数及びイベント参加者数4万人を目指す。</li> <li>来館者等が満足する事業を目指す。</li> </ul>		
実施 内容	項目	実施結果の概要	評価
	施設 設置 ・ 維持	水道記念館等の施設について、「事業計画」に基づき計画的な維持・修繕を実施し、おおむね良好な状態を維持した。	A・ <b>B</b> ・C・D
		展示装置については、定期点検を実施するとともに、老朽化による故障等にも対応を図り、適切な維持管理に努めた。	A・ <b>B</b> ・C・D
	普及 啓発 活動	社会科見学等の来館者受付・案内及び各種イベントについて、「事業計画」に基づき計画的に実施した。	<b>A</b> ・B・C・D
	管理 ・ 運営	水道記念館の良好な維持管理に努めるとともに、水の広場についても除草等を日常的に行い、運営する上で良好な状態を維持した。	<b>A</b> ・B・C・D
その他	広報グッズの活用等により、有効な水道記念館のPRに努めた。	<b>A</b> ・B・C・D	
成 果	<p>神奈川県企業庁は、水道記念館事業を通じて県営水道事業に関する理解等の普及啓発を図ることができた。</p> <p>一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスは、水道事業の歴史や役割、水資源の保全と有効利用等について普及啓発を図ることができた。</p> <p>また、両者による新たな広報活動として、一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスが提供したコンテンツを企業庁のSNS等の新たなツールで活用したほか、日常的な来館者の満足度調査を実施した。</p>		
今後の課題	<p>昨年度に比べ来館者は増加傾向であるが、事業計画目標である来館者数4万人を達成できなかったことから、更なる来館者の満足度の向上を図るため、引き続き展示装置等の適切な維持管理や新たな手段による情報発信・広報活動に努める必要がある。</p>		
今後の対応	<p>神奈川県企業庁は、引き続き施設や展示装置の計画的な維持・更新を行い、水道記念館のイベント情報の発信や広報活動などを行うことにより、来館者数の増加を図る。</p> <p>一般財団法人かながわ水・エネルギーサービスは、引き続き、水道に関する知識の普及啓発活動を実施するとともに、外部イベントの活用や来館者の満足度の把握に努める（来館者の満足度調査を実施する）。</p>		

A（大いに思う） B（そう思う） C（あまり思わない） D（そう思わない）